

事務事業名		佐貫石仏周辺整備計画事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり				所属課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	
	施策名	芸術・文化活動の推進				課長名	寺田 正	担当者名	神山 直行	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	文化財保護法・塩谷町文化財保護条例	
		一般	0	9	0	4	0	1	0	文化財保護活用費
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (平成28 年度～平成31 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 「佐貫石仏」は、町唯一の国指定史跡であり、この度、136年ぶりに奥の院の開帳が行われ、多くの方々が訪れました。また、「佐貫石仏保存管理計画」を策定(H28.3)され、今後は佐貫石仏の保存管理を計画的に進めるとともに周辺整備を進めて行くことを計画しており、最初に石仏前庭の発掘を行うことにより、当時の遺構や遺物等が発見できれば、佐貫石仏の制作年代等の解明につながるものと考えております。その後は、周辺遺跡等の整備を行っていきます。発掘作業の際には、地元の方々にも協力してもらうことや小学生にも発掘体験を行うことで体験学習になるものと思われ</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) H28 … 事業費 7,528,111円(うち国庫補助:2,263,298円) H29 … 事業費 7,201,792円(うち国庫補助:2,093,516円) H30 … 事業費 7,201,792円(うち国庫補助:2,093,516円) H31 … 事業費 9,534,367円(うち国庫補助:2,142,328円)</p>								

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	整備作業(発掘・整理・報告書作成等)	名称	単位
		ア 整備作業回数	回
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	佐貫石仏前庭区域	名称	単位
		ア 発掘等の区域箇所	箇所
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	周辺整備を行うことにより、佐貫石仏の保存管理を推進していく。	名称	単位
		ア 報告書成果品	式

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 回		1	1	1	1	
	イ	実績値 回						
対象指標	ア	目標値 箇所		1	1	1	1	
	イ	実績値 箇所						
成果指標	ア	目標値 式		1	1	1	1	
	イ	実績値 式						

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円		2,263	2,093	2,093	2,142
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		5,265	5,108	5,108	7,392
事業費計(A)		千円	0	7,528	7,201	7,201	9,534

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	「佐貫石仏」は町・町民の財産であり、保存管理・整備を進めて行くには町が行わなければならないため。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	「佐貫石仏保存管理計画」が策定され、引き続き周辺整備を行うことにより、石仏の保存管理を進めて行くことになるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	事業費の一部は国庫補助を充当するが、その他の部分で削減できそうなところは東海寺と協議を行い、調整して行く。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	貴重な文化財を整備し、保護維持して後世に引き継ぐことは、今の我々の責務であり適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 27 年 10 月 30 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業